

令和4年度愛知県放課後児童支援員キャリアアップ研修

2022年11月30日

テーマ④「災害時・緊急時の対応と感染対策」

なかよしクラブ 吉川美里

災害の多い日本。大地震など災害が相次いでいることもあり、令和4年 総務省から放課後児童クラブの安全対策に関する調査結果が出されました。今年度岡崎市もチェックリストに防災関係の項目が加わりました。NPO法人岡崎がくどうの会の各クラブでは何年か前からハザードマップを掲示していました。更に詳細に色々な災害のパターンで見られるサイトがあり、避難経路や避難所のことを調べていたので、もっと踏み込んだ情報が分かると良いと思い、受講しました。

実際に被災した学童保育所の経験を聞き、今災害が起きたとしたら自分のクラブはどのような事態が想定されるかを考えました。陸前高田市のマニュアルに、“高台へ逃げる”とあり、実際は急いで上った高台の先は下り坂だったという例がありました。マニュアルはやはり現地確認が必要だと思いました。想定外の事態に必要なものは、決められたことだけにこだわらない柔軟な判断力と裁量権。自分の判断に責任を持ち主体的に実践、訓練と備えが重要なカギとなります。

グループワークではオリジナルハンドブックの作成を目標に、防災の備え・準備として何が必要か、色々な地域の支援員と意見交換しました。まず命を守る点から応急処置の方法や持ち出しリスト、避難訓練についてなど情報交換しました。避難訓練は、一度もやっていない・義務化もされていない地域もあれば、名古屋市では一か月に一回行っている所もあり、地域によってこんなに差があるとは思っていませんでした。なかよしクラブは避難所が近いこともあり、ハザードマップの避難経路を、そのまま防災頭巾をかぶって避難訓練しています。グループ内では実際に現地まで訓練しているクラブはなく、AEDもクラブ内に備えてある所はありませんでした。小牧市の学童から地震警報器を設置して訓練していると聞きました。5秒後に80%地震が来るそうです。

もう一つ大切な点としては、“心のケア”を考えることです。子どもは不安になりストレスがたまるため、考えなくてはいけない項目です。持ち出しリュックの中に、いざとなった時 子どもが落ち着けるように保護者からの手紙を入れている という話は感心し勉強になりました。講師の自分のケアも忘れずにねという言葉も印象的でした。

現在の感染対策としては、マスク・換気・消毒は続け、油断は禁物ということでした。換気の質問で、全開で出来なくても2方向等まめにやれば良いことが分かりました。

こども女性ネット東海より“誰でも安心防災帳”という手引書がダウンロードできるそうです。アレルギー対応できる備蓄等々まだまだ課題がたくさん残されています。日頃から知恵を出し合って考え情報共有し、被災地の具体例や教訓も参考にしてお考えしていきたいです。